



回																			
覧																			

# あか やながわ雪灯り

2月3日(日)開催



「ヤナガワ♡スキ」の文字が浮かび上がる雪灯り

築川地域では、地域住民の交流の場を創出し、地域の魅力を再認識・再発見する機会として、この冬初めて「やながわ雪灯り」を開催しました（主催 冬まつり実行委員会）。同地区初の試みとなった今回のイベントには、地域住民のほか、築川郵便局、市（農政課）、地域おこし協力隊も協力しました。

同実行委員で発起人の佐々木総隆さんは、開会式の挨拶で、「これまで住民が集まる機会がほとんどなかった。この雪灯りが地域を盛り上げるきっかけになれば



いい。」と、築川地域の将来に対する期待を話していました。

会場となった築川地区振興センター（旧築川小学校）の敷地には、雪だるまなどの大小さまざまな雪像やバケツで雪を固めた灯籠が、ろうそくやLEDライトにより、色とりどりにライトアップされました。

会場内では、伝統芸能の囃子舞（はやしまい）が披露されるなど盛り上がりました。

また、豆腐や野菜、乳製品など地元の食材を使った数々の手料理がふるまわれ、郷土料理を味わいながら、和やかに交流を深めました。



**つながるわ**  
Vol. 65

輪・和・WA...  
和・WA...  
和・WA...

発行：盛岡市市民部市民協働推進課  
〒020-8530 盛岡市内丸12-2  
TEL：019-626-7535（直通）  
E-mail：kyodo@city.morioka.iwate.jp  
（平成31年3月発行）



## 大きくなって帰ってきてね！ サケの稚魚放流

2月26日（火）乙部川で、乙部地区協働のまちづくり事業推進委員会（佐々木章一会長）による、サケの稚魚放流事業が行われました。

参加したのは、都南東小学校の2年生と乙部保育園の園児約50人。今回放流した稚魚は、太平洋を回遊した後、4年後に乙部川に戻ってきます。参加した子どもたちは、「ばいばい」「いってらっしゃい」などと声をかけながら、サケを川へ放しました。

乙部地域では「協働のまちづくりは乙部の未来を創る～豊かな自然、りんご、地域の交流住みやすいまち乙部～」をスローガンに、まちづくり活動に取り組んでいます。乙部川でのサケの稚魚放流は本年が初の取組ですが、昨年9月には、ヤマメの放流会及び水生生物の観察会なども行っています。



## 市民活動・地域からの伝言板

町内会やNPOなど、地域で活動している団体からのイベント情報等をご紹介します。

### ひなの会 作品展

（手芸サークルひなの会）

旧暦のひな祭りに合わせて、吊るし飾りを中心とした手芸品の作品展を開催します。入場無料、申込不要ですので、ぜひ会場へお越しください。

- ・日 時 3月21日（木）～26日（火）  
9時30分～16時
- ・会 場 太田民俗資料館（中太田深持9）
- ・問い合わせ 080-1829-9614（成田 知子）

※記事の掲載を希望する団体は、市民協働推進課まで御連絡ください。なお、記事のスペースによっては御希望に沿えない場合もありますので御了承ください。

2月16日（土）、盛岡市市民文化会館（姫神ホール）で、啄木かるた大会（主催：啄木祭実行委員会）が開催されました。

事前にエントリーした78チームから、総勢234名が参加。石川啄木の誕生日（2月20日）に合わせて平成14年から開催している同大会は、今回で17回目の開催となりました。

平成18年度からは、小学生4～6年の部の上位1チームを翌年度に函館市で行われる「函館・盛岡啄木交流かるた大会」に派遣するなど、啄木ゆかりの地である函館市との交流も行っています。

また、市は本年2月20日に、啄木が終焉を迎えた地ということ縁に交流を続けてきた東京



都文京区と、友好都市提携を結びました。今回の提携を機に、両市区における交流の更なる発展が期待されます。

# 平成30年度

平成31年2月14日（木）、盛岡市総合福祉センターで平成30年度コミュニティリーダー研修会（主催：盛岡市、盛岡市町内会連合会、玉山地域自治会連絡協議会、“世界につながるまち盛岡”市民会議）が開催されました。

研修会は二部構成で行われ、第一部では特定非営利活動法人きらりよしじまネットワークの高橋由和事務局長が「住民が創る持続可能な地域づくり・ひとづくり」と題して講演。

第二部では、平成30年度「元気なコミュニティ特選団体」に認定された稲荷町内会と、盛岡市「地域協働推進事業」の実施団体である玉山藪川地区福祉推進会の2団体が事例発表を行いました。

## 第1部 講演

### 「住民が創る持続可能な地域づくり・ひとづくり」

講師：特定非営利活動法人

きらりよしじまネットワーク

事務局長 高橋 由和 氏

きらりよしじまネットワークは、山形県川西町吉島地区の全世帯が加入するNPO法人として、合意形成・ひとづくり・財源確保といった地域づくりに必要な仕組みを定着させ、地域全体を巻き込んで新たな活動を生み出しています。

同法人の高橋事務局長は「人口減少及び少子高齢化が急速に進む地域社会において、コミュニティの衰弱は不可避。流れに逆らうのではなく、課題解決を複層的に捉えて事業化し、多くの住民参加を促す仕組みを構築することが必要」と解説し、参加者は熱心に耳を傾けていました。



## 第2部 事例発表

### 稲荷町内会

平成30年度

「元気なコミュニティ特選団体」

稲荷町内会は、住民の多くが新規流入者である都市型コミュニティですが、各種行事やイベント等を通じて親睦を深めるなど、新しい住民の受け入れ態勢を整えているほか、1,000年の歴史を有する神社を近隣8町内会で維持管理しながら地域の伝統を後世に伝える活動を実施している点が評価され、平成30年度に岩手県の「元気なコミュニティ特選団体」に認定されました。

活動のキャッチフレーズは「声掛け、寄り添い、助け合いで安全安心な明るく住み良いまちづくり」。町内を歩くことで知り合いが増えていくという、小規模ゆえの「顔の見える町内会」を強みに、住民同士の交流を図っています。また、ここ数年では空き家を改築して家族で転入してくるケースが増えており、若い世代の定着も進んでいます。



### 玉山藪川地区福祉推進会

盛岡市「地域協働推進事業」

実施地区

玉山藪川地区福祉推進会は、玉山村と盛岡市の合併に伴い平成18年度に設立された福祉推進会で、玉山藪川地区の8自治会が中心となり組織されています。平成27年3月に「玉山藪川地区地域づくり計画」を策定し、平成27年度から地域づくり事業を実施しています。

スローガンは「豊かな自然と伝統文化を生かした安心して暮らせる地域づくり」。活動テーマには①思いやりのある安全安心な地域づくり ②農村風景を大切に自然環境保全と地域活性化に進む地域づくり ③誰もが訪れたい地域づくり——の3つを掲げ、それぞれのテーマに沿った活動を展開しています。

今回の事例発表では、地域づくり事業の一環として作成した「お宝マップ」を取り上げ、地域にある資源や魅力を改めて紹介していただきました。



# コミュニティリーダー研修会